

### 3号機原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用タービン軸受け部からの 油漏れについて

3号機は原子炉起動中ですが、平成17年3月12日午前11時10分頃、原子炉隔離時冷却系ポンプ\*の起動時の機能確認を実施したところ、ポンプ駆動用タービンの軸受け部から潤滑油の滴下(1滴/80秒)があることを、当社社員が発見いたしました。

その後、当該軸受け部の油面調整を行ったのち、再度当該ポンプを起動し漏えい確認を実施しましたが、状態が改善されないことから、今後、潤滑油系の点検を行います。現在、起動操作は中断しております。

滴下した油は、当該軸受け部の下に設置されている油受けから廃油槽に導かれ処理されております。

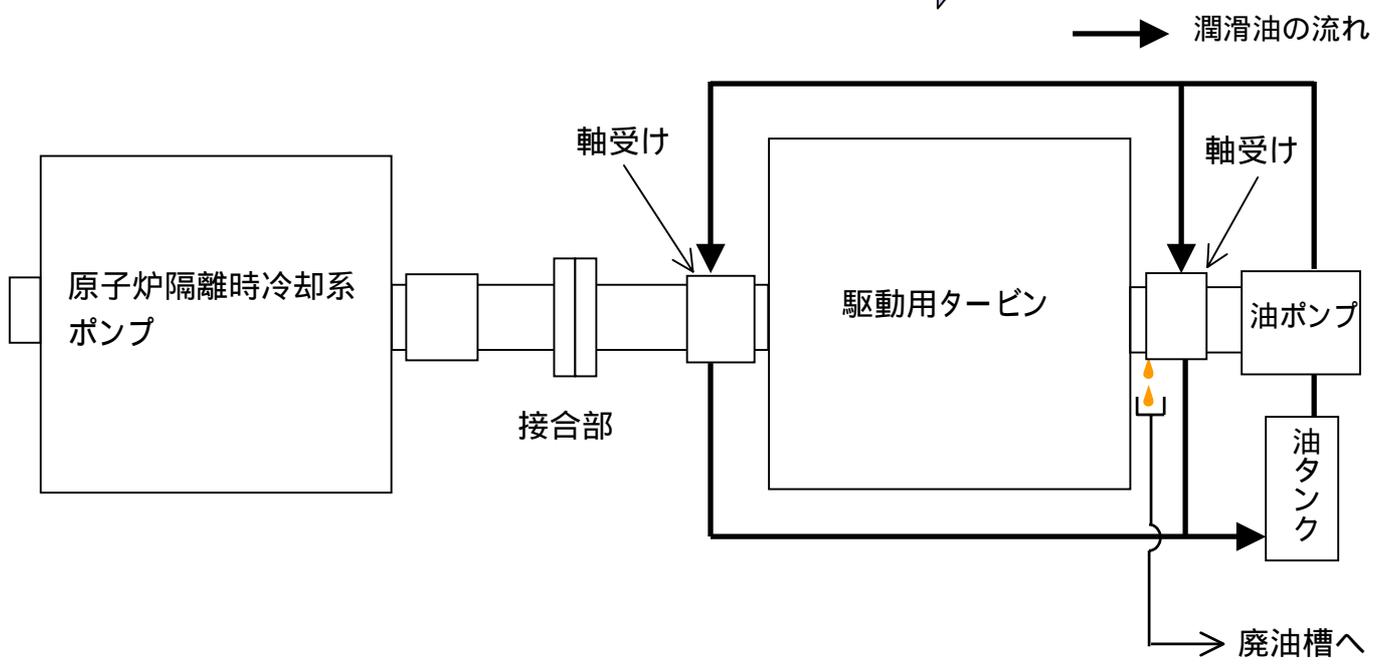
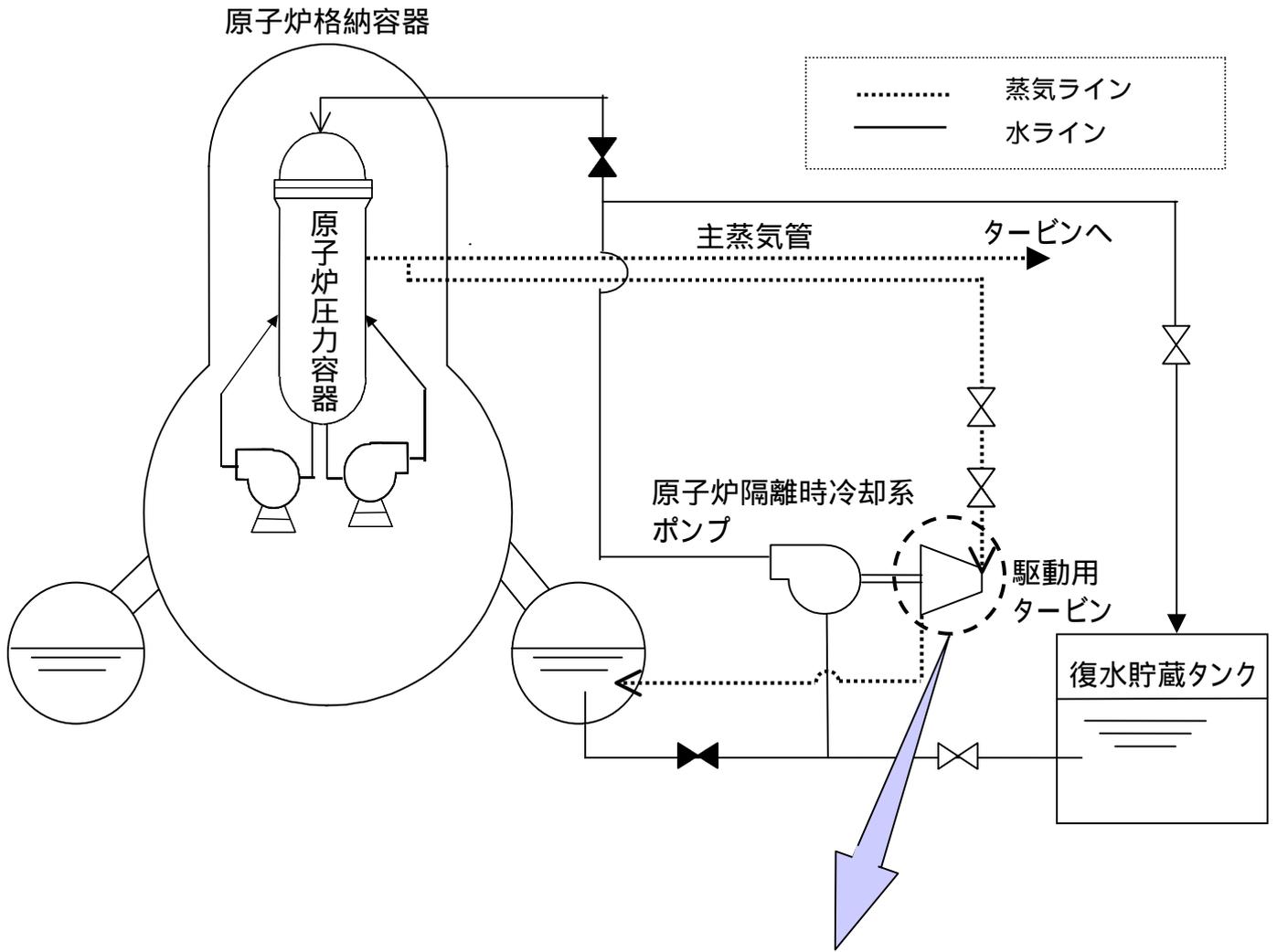
外部への放射能の影響はありません。

なお、潤滑油系の点検が終了次第、起動操作を再開し、健全性の確認を行います。

以 上

#### \* 原子炉隔離時冷却系ポンプ

何らかの原因により、通常の原子炉給水系が使用不可となり、原子炉水位が低下した場合等において、原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し、原子炉の水位確保および炉心の冷却を行う系統のポンプ。なお、本系統は非常用炉心冷却系ではありません。



3号機原子炉隔離時冷却系ポンプ  
 駆動用タービン軸受け部からの油漏えいの概要